

7 A案

教材名：栄冠は君に輝く	
主題名：希望をもって	内容項目：A (4) 希望と勇気, 克己と強い意志

1 ねらい 目標や希望をもち、困難に屈しないで粘り強く最後までやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 「栄冠」という言葉のイメージを考える。</p> <p>① 映像資料で『栄冠は君に輝く』を聴き、高校球児にとっての「栄冠」とは何かを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・試合に勝つこと・仲間と一緒に勝利をつかむこと <p>② あなたにとっての「栄冠」とは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・県大会で優勝すること・お金持ちになること・夢を叶えること <p>◇ 教材を読んで、話し合う。</p> <p>③ 20年前の甲子園で、「私」はどんな人に「栄冠」が輝くと思っていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・勝利をつかんだ人・ピンチを切り抜けた人 <p>④ 誰もいない部屋で、なぜ「私」は「ありがとうございます」と涙声でつぶやいたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・新聞記事やボールのおかげで、過去の自分と向き合うことができたから・逃げていた自分に気付き、新しく踏み出す勇気をもらえたから・ボールや温かい言葉をくれた審判員の優しさを実感したから <p>⑤ 白球を追う球児たちに、「私」はどんな思いで「栄冠は“君”に輝く」とつぶやいたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・努力を積み重ねてきた一人一人に、栄冠は輝くのだ・勝ち負けが大切なのではない、精一杯の試合をすることが大事なんだ <p>◇ 自分自身を見つめる。</p> <p>⑥ もう一度考えてみよう。あなたにとっての「栄冠」とは何だろう。また、それをつかみ取るために、どうすればよいでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・自分にとっての栄冠は、夢を叶えること。嫌なことから逃げ出さない強い意志を持ちたい・自分にとっての栄冠は何なのかはまだわからないけれど、努力を続けることが大切だ

3 指導上の留意点及び工夫

- ・「栄冠」に焦点化した発問構成となっている。「栄冠」とは勝者だけに与えられるものではなく、目標や夢を持ち、くじけずに努力を続ける人に与えられるものであると気付くことで、くじけない心やあきらめない強い意志の大切さについて、考えを深められるようにする。
- ・②の後に、「今日は、この『栄冠』について考えましょう」と方向付けをするとよい。
- ・⑥では導入での発問を再度活用することで、本時における変容を捉えられるようにする。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「7 栄冠は君に輝く」

7 B案

資料名：栄冠は君に輝く

主題名：自分と向き合う

内容項目：D (22) よりよく生きる喜び

- 1 **ねらい** 自分の弱さから逃げずに向き合い、希望をもって生きていこうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 自分自身を見つめる。

- ① 自分の持つ様々な面について考えてみましょう。
- ・人前では明るいけれども、くよくよ考えたりすることがあるな
 - ・人見知りで、なかなか打ち解けるのが苦手だな
 - ・自分のことについてあまり考えたことないな

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 「私」は、なぜ20年間、段ボール箱を開けられなかったのでしょうか。
- ・振り返りたくない思い出だったから
 - ・つらい記憶がよみがえるのが怖かったから
- ③ 「私」の生き方を変えた出来事は何でしょう。
- ・新聞記事で加賀さんの生き方や熱い思いに触れたこと
 - ・つらい思い出から逃げてばかりではいけないと思い、20年間開けずにいた段ボール箱を開けたこと
 - ・サヨナラホームランを打たれたこと このつらさと向き合えたから強くなれた
 - ・球審の方に声をかけられ、ボールを渡してもらったこと
 - ・つらい思い出しかなかったボールに向かって「ありがとうございます。」と言えたこと

◇ 自分との関わりで考える。

- ④ 「自分自身を見つめる」とはどういうことでしょう。
- ・自分のよいところだけでなく、嫌なところにも目を向けて、逃げずに克服するために努力すること
 - ・過去の嫌な思い出から目を背けるのではなく、そこから学べることを生かして前に進むこと
 - ・自分自身を見つめることは難しく、恥ずかしいことだが、成長するには必要なこと

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①では、個人的な内容になるので配慮して進める必要がある。
- ・③では、グループでの話し合いを取り入れ、その後の全体交流では友達の考えでよいと思ったことを中心に交流を進めこともよい。

4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「7 栄冠は君に輝く」